

原子力発電所で深刻な事故が発生したら、原子力事業者から国や周辺自治体に通報があります（第十条通報）。

極めて重大な事故なので、マスコミも必ず一斉に報道します。

事故の状況に注意しましょう。

重大事故発生報道  
(第十条通報)



原子力緊急事態宣言  
(第十五条)



「第十条通報」とは、原子力発電所で深刻な事故などが起こった時に原子力事業者が国や周辺自治体に状況を通報すること。この状態になるとテレビ、ラジオなどでも一斉に報道されますので情報に注意してください。

第十条通報が出されたら、篠山市にも放射性物質が飛んで来る可能性があるので、避難や避難の準備を始めてください。特に小さな子どものあるご家庭や、高齢の方、体に障がいのある方など避難に時間が必要な方とそのご家族などには、避難することを勧めます。

もつと事態が深刻化すると、国から「原子力緊急事態宣言」(原災法第十五条)が出され、原発周辺の自治体には避難指示が出されます。

周辺自治体に数えられていない篠山市に避難指示は出されない可能性がありますが、篠山市では市民の安全を最優先に考え、

「とつとと逃げる」(早めに避難する)ことを勧めています。避難ができない方はきちんと締め切った屋内への退避を行ってください。

もしも市内の放射線量が高くなって、健康への影響がでるおそれが高まったら、国から「一時退避」や「避難指示」が発令されます。

避難情報などは防災行政無線、携帯電話への緊急速報メール、市のホームページなどを通じてお知らせします。

原子力発電所に事故などが起こった場合には、テレビ、ラジオなどのスイッチを入れて情報を確認しましょう。

あなた自身と、あなたの家族や周りの人の安全を守るため危機管理のスイッチを入れましょう。

被ばくを避けるためには、「とつとと逃げる」ことが肝心です。

## ささやまデカンショ防災ネット

災害時に、携帯電話のメール機能やホームページ機能を利用して、気象警報や、避難情報等をいち早くお知らせするシステムです。

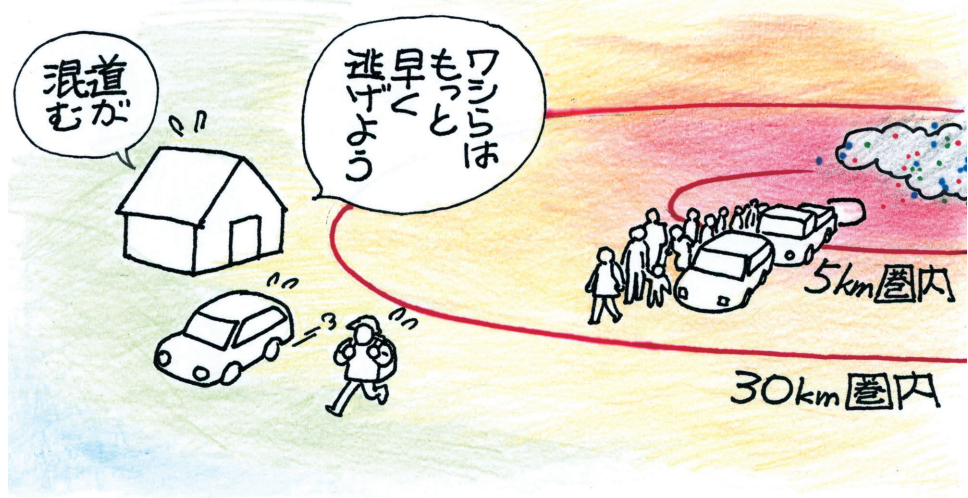
登録料は無料です。

右のQRコードを読み取って登録してください。



<http://bosai.net/sasayama/>

# 原発事故が起こった時、私たちはこう逃げよう



## 歩 シミュレートした通りに動く

原発事故に遭遇したら落ちて着いて自分が組み立ててきたシミュレーションを思いだし、そのとおりに避難をはじめましょう。想定と違うことがあった場合もあわてずにまたあきらめずにより良い方法を考えぬいて実行に移しましょう。

## 歩 避難は公共交通機関や自動車(乗り合わせ)で

避難には電車などの公共交通機関や家用車を活用しましょう。原発の近くから避難がはじまり、道路は渋滞が発生しやすくなります。渋滞緩和のためにも篠山市からは早く避難しましょう。車には近所の車を持っていない方を乗せてあげてください。



放射性物質は風によつて運ばれ、風向、風速、雨、地形に左右されます。風下に入らない方向に逃げるのがベターです。

基本的には南や西方向に避難するのがいいのですが風向きに十分に注意して避難する方向を考えましょう。



### 風水害よりも

思い切り遠くへ  
とつとと逃げる！

毎年訪れる台風などによる水害と違い、原発事故は頻繁に遭遇するものではないので、万が一の時には、原発からできるだけ遠くに逃げましょう。

遠くへ離れるほど放射線の影響は少なくなります。



### 行動記録をつけておく

避難の際には行動記録を付けましょう。避難は強いられたものですから経費を請求する必要があるかもしれません。また万が一、被ばくしてしまった場合のその後の健康管理のためにも行動記録をつけておくことが大切です。



### 救助者のためにも とつとと逃げる

ときに「災害になったらワシはもう逃げんでええわ」と言われる方がおられますが、災害時には救助者はそのに誰かがいる限り助けにいく使命を背負います。このため誰もが避難に真剣になった方が救助者も有効に動け、危険を少なくできます。救助隊のためにも一生懸命に避難しましょう。



# いざという時のためにふだんからこんな準備をしておこう

## ！ シミュレーションを重ねておく

原発事故からの私たちの避難をよりよくするために、とつとと逃げだすシミュレーションをかさねておきましょう。自分や家族がどこに集まりどこに逃げるかを、通り道や交通手段を決めしらべておきましょう。

## ！ 防災協定を結んでおく

あらかじめ遠くの親戚や知人と「防災協定」をむすび、なにかあったときの互いの避難先、連絡先としておきましょう。

## ！ 各々の現場で

### シミュレーションを

シミュレーションは各家庭で作りますが、可能ならば広げてください。「地域(自治会)」「学校」「職場」「要援護者」などに分けられます。当事者でシミュレーションを組み立てましょう。



## ！ 放射性物質から身を守る準備を

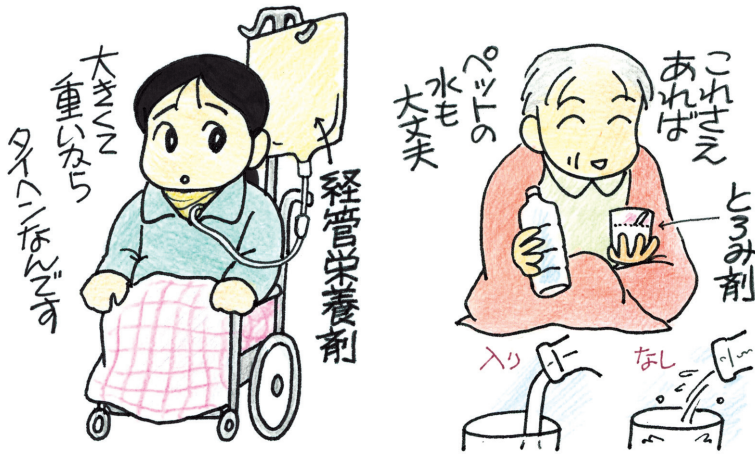
逃げる時は放射性物質に追いつかれてもできるだけ被ばくしない用意が大事。あとで捨てられる安いカップ、N95など性能のよいマスク、目ですっぽり覆うゴーグル(曇り止め使用)、帽子などを用意しましょう。安全地帯に行つてからすぐに着がえられる用意も。

## ！ 子どもや妊婦さん優先で

シミュレーションにあたっては大人よりお子さんが被ばく影響を受けやすいことを考え「子ども、赤ちゃん、妊婦さんを守る」視点を優先させましょう。

## ！ 要援護者を守る準備を

要援護者の守りもとても大事。当人の状況ごとに準備をしておきましょう。たとえば福島原発事故避難では経管栄養剤やとろみ剤の不足が深刻だったそうです。



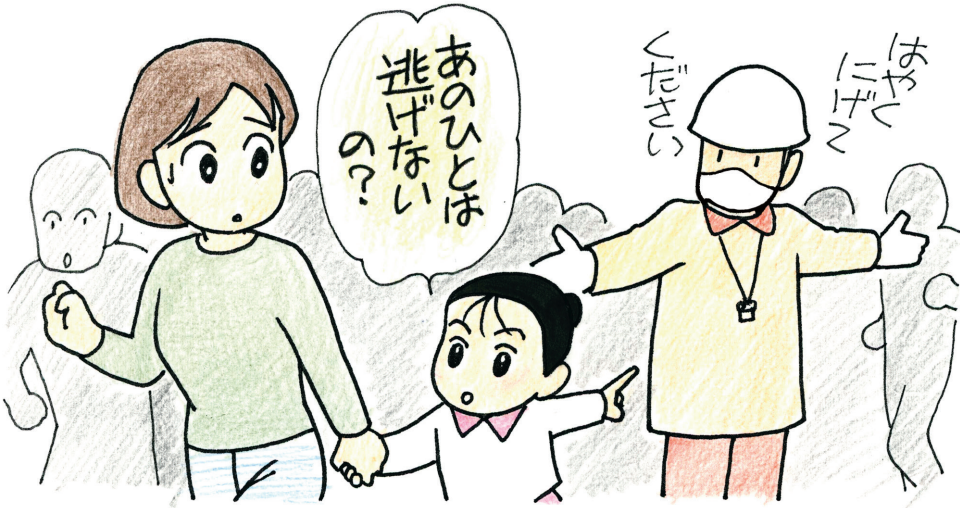
## ！ 逃げ出し困難なときは立てこもる

原発で事故が起こった時、篠山市では避難することを勧められています。すぐに避難することが難しい場合は、外出は避けて、屋内で被ばくを防ぎましょう。窓を目張りして、外の空気が建物内に入らないようにします。外から帰ったら手や顔を洗い、衣服を着替えましょう。

日頃から水、食料、燃料などを最低一週間分は備蓄しておきましょう。

## ！ みんなで互いに守り合おう

避難誘導などに従事する方も全体で守りましょう。全市をあげてとつと逃げればこの方たちも早く退避できます。一人の命はみんなの命、みんなの命は一人の命。互いに守り合うことをふだんからこころがけておきましょう。



# 私たちの持っている安定ヨウ素剤はいつ飲めばよいのか

## 安定ヨウ素剤とは？

安定ヨウ素剤は放射性ヨウ素による被ばくから甲状腺を守るための薬です。ただし、外部被ばくや放射性ヨウ素以外の内部被ばくを防ぐことはできません。このため、避難や屋内退避などの防護措置もあわせて行う必要があります。

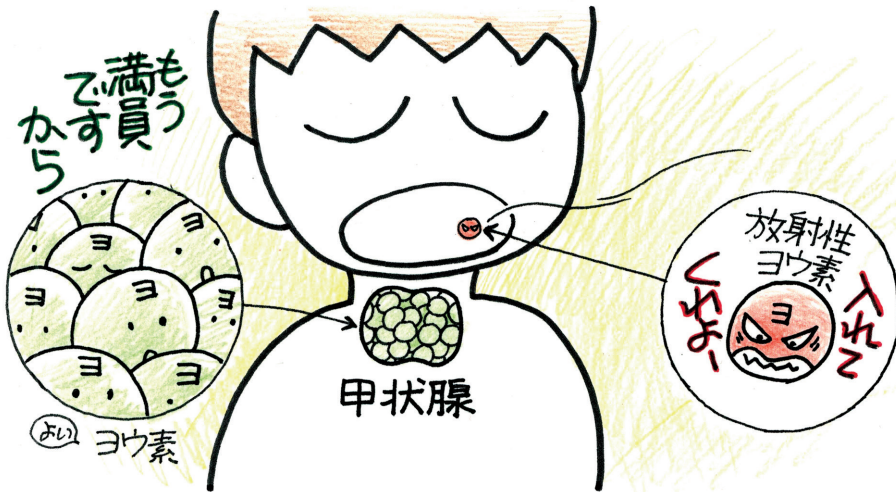
## 篠山市では

### ヨウ素剤を事前に配っています

篠山市では平成28年1月から安定ヨウ素剤の事前配布を開始しました。

まだ、お持ちでない方は早め1年に1回行う配布を受けてください。

事故時には、備蓄している安定ヨウ素剤を場所を限定して緊急配布します。



## なぜ安定ヨウ素剤か

原発事故が起こると放射性物質のうちの一つの「放射性ヨウ素」が飛んできて身体の中に入り、甲状腺に集まって被ばくを起こしてしまいます。安定ヨウ素剤は放射線を出さないヨウ素で甲状腺を埋めてしまうためのものです。

## 効果はどれくらいの期間？

放射性ヨウ素が飛んでくる24時間前までに安定ヨウ素剤を飲んでおけば甲状腺に入ることが防げます。飛んできてからも4時間ぐらいまでなら6〜8割ぐらいは放射性ヨウ素が甲状腺に入ることをおさえられます。

## 飲むタイミングは？

飲むタイミングは原発で深刻な事故が起こって、篠山市への重大な影響が予想される時です。

飲むときは同時に避難を始めるときです。

なお安定ヨウ素剤の効果は24時間。この間に安全な場所に避難しましょう。

## どんな人が飲むの？

安定ヨウ素剤の丸薬は3歳以上のすべての方が飲んでください。

3歳以上13歳未満の方は1丸。13歳以上の方は2丸を飲んでください。

妊婦さんも飲んでください。



## 3歳未満の乳幼児はどうするの？

ゼリー状の安定ヨウ素剤が入手できることになりましたのでそれを配ります。

## 副作用はないの？

副作用はごくわずか。

インフルエンザ予防注射による深刻な副作用発生率が0.002%。安定ヨウ素剤

の副作用の発生率はその20分の1です。





# 篠山市の取り組み

## 市長からのメッセージ

子どもたちを、  
市民を、  
守ります



篠山市長 酒井 隆明

平成23年の福島の事故が起こるまで、私達は原発は安全なもの、原子力の平和的利用は幸せをもたらすものと信じ

ていました。

しかし、この事故から、事故は起こり得るもので、しかも、篠山市は福井の原発群から50キロメートルの距離であることが判りました。

篠山市では、原子力災害対策検討委員会を設けて、医師、専門家、市民を交え熱心に議論し、その中で避難の計画や安定ヨウ素剤の事前配布などが求められました。

安定ヨウ素剤の配布については、成長期にある子ども達を中心にすべての方に受領を勧めましたが、市民の皆さんの意識、関心は高く、平成28

年までに、3歳以上13歳未満の約74%、市民全体では約30%の方に配布できました。「子どもを守るのは大人の責任、篠山市は市民を守ろうとしている」との評価をいただきました。

そして、本ハンドブックの策定もできました。

これを活用していただいて、万々に備えると共に、いろんな災害に対する意識を高めていただいたら幸いです。

市民あげて災害に強い、そして美しく住みよい篠山市をめざします。

## 市民の命と安全を守るために！

篠山市は憲法で保障されたみなさんの人格権を守るために、原発事故に備えています。原子力災害対策検討委員会を中心に、可能な事故対策の検討をかさねてきました。

とくに被ばくから甲状腺を守るために安定ヨウ素剤の事前配布を2016年1月末から初め、11月から2回目の配布も行いました。全自治会の学習会などもおこないました。

この取組みは原発から30キロ圏外の自治体では初めてのものです。全国から注目されています。



篠山市でのヨウ素剤配布



事前配布説明会の様子

災害のときに市民を守る柱の一つの消防団は団員約1200人が原子力災害に関する研修を受け、放射性物質が降る中での活動の際に内部被ばくを低減するためのカッパもそろえました。市民を守りながら、団員も守る対策をかさねています。

詳しくは市のホームページ掲載の「原子力災害対策計画」に向けての提言をお読みください。

2017年7月1日

発行

篠山市

連絡先

市民安全課  
079-552-1111

まんが

たけしまさよ

レイアウト

ますいあけみ



原子力災害対策をたくましく進める篠山市消防団

# チェック表

## 持ち出し品

- 
- 
- 
- 
- 

## わが家の避難先

①

②

## 家族の連絡先 (全員)

- 
- 
- 
- 
- 

## 安定ヨウ素剤の保管場所

- 

